

## 令和3年度入学式 式辞

七十六回生、237名の新生の皆さん、2月の説明会で会ってから、ずっと今日を楽しみにしていました。入学おめでとう。皆さんに一つだけお話しします。

今日、皆さんの名前はありましたか？クラスは決まりましたか？当たり前と思うでしょう？実は校長先生は中学校の入学式、名前がありませんでした。私は神戸市からの転入生で、明石は知らない土地、友人もいません。すごく不安になりました。「とりあえず1組に入ってください」と言われ1組に入りました。幸い式の後のHRで話せる子もできて、「なんとかやっ<sup>れ</sup>ていけそうだな」と思った矢先、1人の先生がやっ<sup>れ</sup>てきて、全く事務的に私の名前を呼び、3組に行くように言われました。私は何も悪くないのに気まずい思いで3組に入り、刺すような視線を感じながら、一言も話さず帰宅しました。これが私の中学校の入学式です。

しかし、夕食時の母親はニコニコしていました。そしてこう言ったのです。「あんたよかったなあ、今日は2クラスも行けて、友達、倍できるやん」なんと能天気な母親でしょう。しかも慰めではなく、本気でそう思っているようです。しかし、もっと単純な私は「そんなものか」と思い、以後、この話は今に至るまで笑い話になっています。

皆さんはどう思いますか？これが今だったら大騒ぎになって、SNSやマスコミにも取り上げられるかも知れません。生徒の皆さんもこのトラブルに耐えられますか？次の日から学校行きたくない、なんて思いませんか？

入学前アンケートでも中学校で勉強やクラブ活動を頑張りたい

というのが多く、素晴らしいことです。しかし、もう一つ身につけなければいけない力は『少々のことには負けない力』です。皆さんが生きていく世界は家庭、保育園・幼稚園、小学校と成長に伴って広がり、自分を守ってくれる場から、少しずつ離れつつあります。また世界が広がることで、上には上がいるという経験もたくさんします。

そんな時、湧き出る「負けるもんか！」という気持ちが、学力・体力とともに生きる力となる気力です。いささか極端な例を出しましたが、私はこの気持ちこそ、世の中を生き抜く大切な力だと思っています。ただ、いきなりは無理ですね。少しずつでいいので身につけられるよう、頑張っていきましょう。

保護者の皆様、これから三年間、職員一同、お子様の教育に精一杯取り組んでまいります。時にはご家庭の思いとすれ違うことがあるかも知れませんが、お子さんの健やかな成長を願っている気持ちは職員も同じです。どうかご理解いただき、互いに手を取り合って、協力し合いましょう。それでは、入学を心からお祝いいたしまして、式辞といたします。

令和三年 四月八日

明石市立二見中学校 校長 矢野 毅吉